

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。
▲注意 …組立てを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険および物的損害が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

▲注意

- 必ず錠セットを取り付け、枠につり込んだ後はラッチを掛けてください。枠ごと運ぶ場合もラッチを掛けたままで行ってください。錠セットを取り付ける前に枠へつり込むと、ドアが勝手に開き危険です。
- 丁番の取付けねじは奥まで締め付けてください。ねじがゆるいとドア本体脱落の原因となります。
- 上枠カバーは上枠にはまるまで押し込んでください。また、ガタつき、外れがないことを確認してください。脱落の原因となります。
- ドアが上枠カバーにあたるため、上枠カバーの取付けはドアのつり込み後に行なってください。

■使用ねじ・部品一覧表

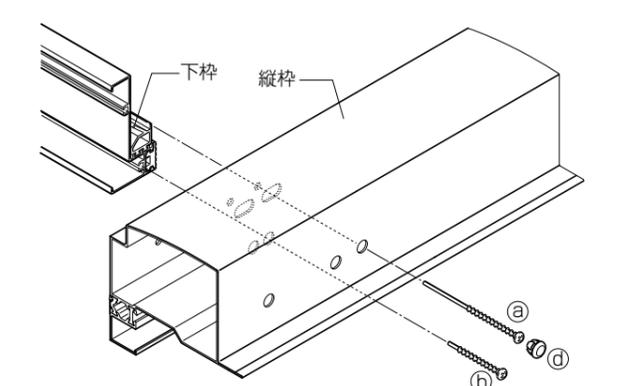
●図中の記号は、使用ねじ及び部品の種類を示します。

①	②	③	④
φ4×110 ナベタッピンねじ	φ4×40 ナベタッピンねじ	下枠アンカー	プッシュボタン
⑤	⑥	⑦	
※枠に取付け	※子扉に取付け	※本体に取付け	
ドアガード受け(枠用) (M4×16)バインド小ねじ	ドアガード受け(子扉用) (M4×16)バインド小ねじ	ドアガードアーム (M4×12皿小ねじ) 注1 (φ4×25タッピンねじ1種)	

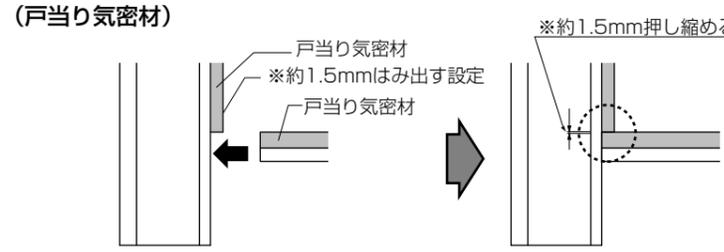
注1. フラッシュドアへの取付け用

■組立て詳細図

(①、②ねじの使い分け)
 ①ねじ…ホロー形材部分に使用します。
 ②ねじ…ソリッド形材部分に使用します。
 ③プッシュボタン…ホロー形材の穴ふさぎとして使用します。

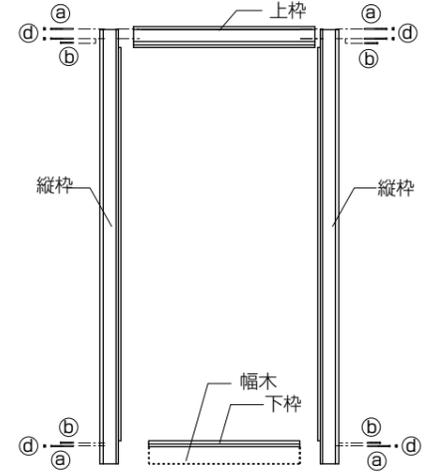


(戸当り気密材のコーナー部納まりについて)
 ●組立ての際、コーナー部の戸当り気密材が正しく納まっているか確認してください。戸当り気密材は、温度変化による伸縮を考慮し、長めに設定してあります。



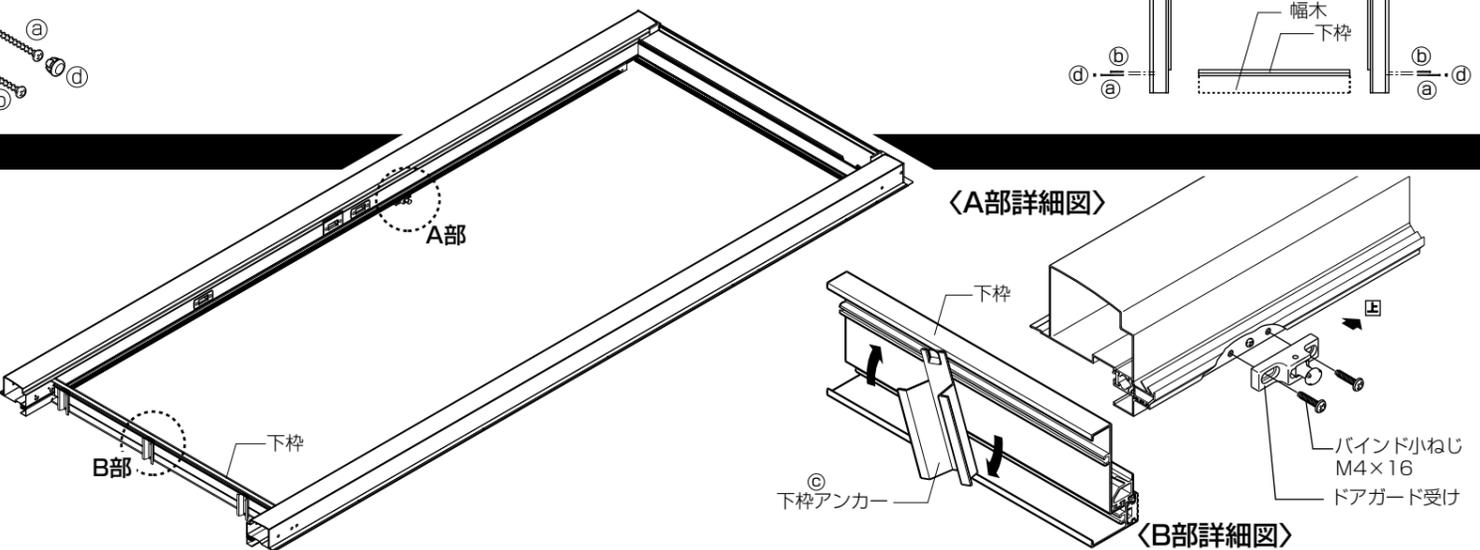
■組立て順序

●30・45親子・60両開き
 ・ランマ無しの場合、無目はありません。



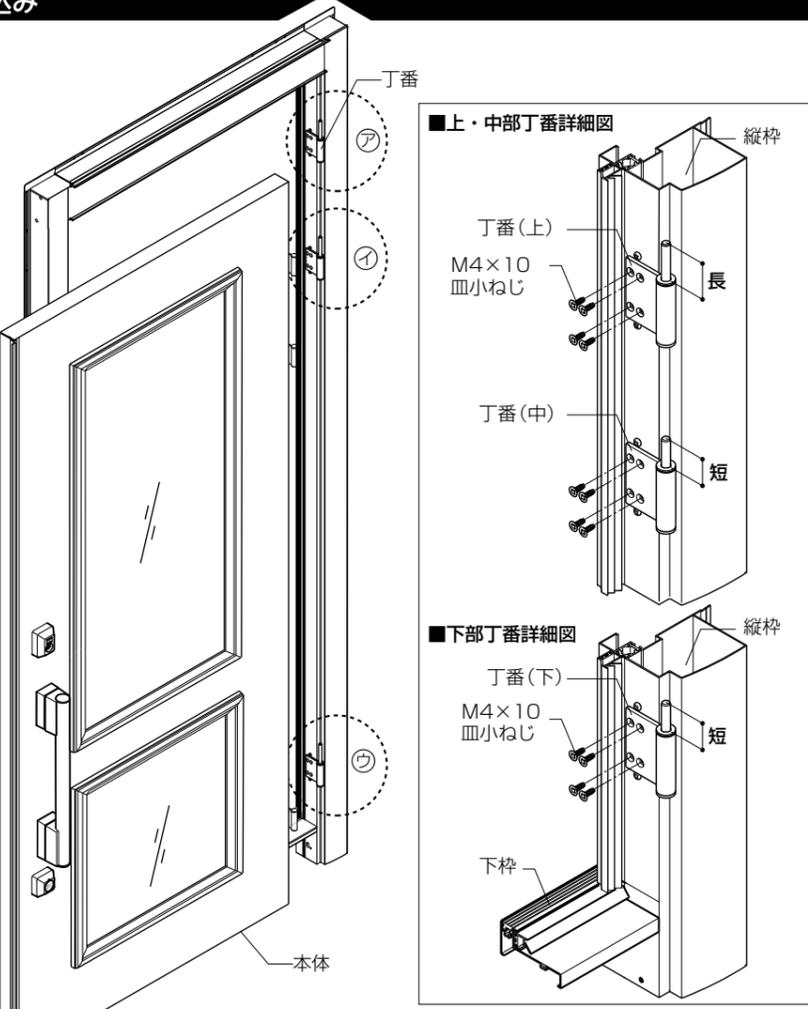
■組立て詳細図 (部品の取付け)

■幅木を取り付ける場合
 ●幅木は別売りを使用します。取付け説明書は、幅木セットの中に同梱してあります。
 ●下枠幅木は必ず枠組立てと同時に取付けてください。



■丁番の取付けと本体のつり込み

①丁番は上・中・下の区別があります。軸の長い丁番は上、軸の短い丁番は中・下になるように取り付けます。(取付けねじは丁番セットに同梱されています。) 本体側は、M4×18皿小ねじ(長い方のねじ)で取り付けてください。
 ②ドア本体を⑦・⑧・⑨の順でつり込みます。



■上枠カバーの取付け

①上枠上部の溝に上枠カバーの先を挿し込みます。
 ②部材が嵌合した状態で上枠カバーを倒し、上枠カバーの下部が上枠の下部にはまるまで押し込んでください。最後に、ガタつき、外れがないことを確認してください。

